

一般社団法人

東京都個人タクシー協会

会報

乗って安心個人タクシー

世論に支持される あこがれの個人タクシーに

東京都個人タクシー協会
会長 秋田 隆



あけましておめでとうございます。
会員傘下の事業者の皆様にご挨拶を申し上げます。

日頃より東京都個人タクシー協会の運営にご協力をいただきましてありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

個人タクシー業界は事業者の減少により各組合の役員の皆様には大変ご苦勞の中で運営されていることと思います。折に触れ新規許可について国土交通省と話し合いをしているところですが、特措法施行以来タクシーの台数を減らそうとしている現状で要望が通ることは難しくなっております。そんな中、譲渡譲受円滑化のルール改正が行われ、昨年8月1日に施行されました。東京では12月20日まで許可条件の変更申請を出された方が22名おり、死亡後譲渡申請は9月以降7件出ていると報告を受けております。個人タクシーを応援する議員連盟の先生方、国土交通省のタクシー班の皆様にご挨拶申し上げます。また、昨年11月20日に「個人タクシー」を応援する議員連盟第8

回総会」が開催されました。ここで新たな要望を2点ほど出してまいりました。1点目は「事前試験について、法令試験・地理試験をそれぞれ別に受験することを可能とし、法令、地理それぞれの合格証を発行していただきたい。」というものです。これが実現すれば、地理試験だけ合格した方は、次の3月、7月に法令試験が受けられますし、地理ありで法令試験だけ合格した方は、一年後の地理試験に向けて集中して勉強が出来ることとなります。2点目は「新規許可申請の受付時期について、事前試験の合格証保有者については、随時受け付けることとしていただきたい。」というものです。現在、東京の各交通圏は準特定地域または特定地域に指定されており、新規許可申請が出来ない状況です。しかし、特措法施行時は全国で1地域だった新規許可申請が出せる地域が、今では準特定地域から外れて13地域まで増えております。現在、個人タクシーの新規許可申請



は1年の内9月の1か月間しか認められていないものを事前試験合格証保有者には法人と同じように随時受付としていただきたいと思っています。

東京では法人業界も乗務員不足が続いており、法人・個人一緒に若いタクシー乗務員を募っていかねば次の個人タクシー事業者も生まれてきません。現在「魅力あるタクシー業界の実現に向けた法人・個人の連携に関する検討会」で話し合いを続けているところです。しかし、これらを成功させるためには、個人タクシーがあこがれの職業にならなければなりません。

まず一人一人の事業者が個人タクシーとしての誇りをもって、業界全体のことを考える。そして利用者の方々から「やはり個人タクシーを利用して良かった。」と言っていただけのように、事業者の皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。

令和2年が個人タクシー再生へ向けて素晴らしい年になりますように、そして、会員傘下の事業者の皆様のご商売の繁盛、ご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。そして年頭の挨拶とさせていただきます。

都内個人タクシー現況 (令和元年12月1日現在)

許可事業者数 12,027名 (前月比 -28名)
(特別区、武三11,624名 北多摩154名 南多摩249名)
傘下事業者数 11,692名 (前月比 -38名)
(特別区、武三11,293名 北多摩151名 南多摩248名)
※集計方法は運輸行政と異なります。

令和二年 年頭の辞

関東運輸局長 吉田 晶子

新年おめでとうございます。
年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。

交通運輸事業者の皆様方におかれましては、平素より、安全かつ信頼できる輸送

サービスの提供にご尽力をいただいておりますことに對しまして、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。

タクシーについては、各タクシー協会が自治体と連携して行う乗合タクシーの導入など、地域交通の課題の解決に向けた取組を関東運輸局としても支援してまいります。ユニバーサルデザインタクシーについては、身体障がい者のほか、高齢者や妊産婦等、様々な人が利用できる構造となっているタクシー車両として、国土交通省としても普及に向けた各種施策を講じているところです。

一方で、車椅子の乗降に時間がかかることや、スロープ等の操作が分からない乗務員がいるといった指摘もございまして、関東運輸局としては、車いす利用者に対する接遇向上のため、引き続き、ハードソフト両面からの取組を支援してまいります。

タクシー利便性向上につきましては、(社)全国ハイヤータクシー連合会から発表されたタクシー活性化20項目など、業界自らが問題意識を持ち、これからのタクシー事業のあり方を明確にされていることにつきまして、大変心強く感じております。関東運輸局としても、昨年10月より開始されている事前確定運賃サービスをはじめ、スマホ配車アプリ、キャッシュレス決済端末機、多言語対応などの利用者利便の向上等に向けた取組を支援してまいります。

今後とも、関東運輸局の行政の推進に関し、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の新年の挨拶とさせていただきます。



令和二年 元旦

タクシーセンター 第43回優良運転者表彰

ユニバーサル社会に貢献を

11月28日(木)午後2時より、ホテルイースト21東京において、東京タクシーセンターによる第43回優良運転者表彰式が行われました。今年の個人の受賞者は特別表彰・30年・20年・10年・一般を合わせて、409名となりました。

渡辺会長式辞

「本日受賞されました皆様方は、長い歳月にわたりタクシー運転者として職務に精励され、タクシー業務に関して違反がなく無事故無違反を続けられ、さらには厳正なる審査の結果、優良運転者として選ばれた1811名の方々です。未だ厳しい経済情勢と交通環境のなかにあつて、タクシー利用者の利便と交通事故防止のため、日々たゆまぬご努力を重ねた優秀な方々であり、深く敬意を表する次第です。」

価を得ていますが、ますます範囲を広げ、ユニバーサル社会に貢献していくことを切に期待しております。

本日受賞された皆様方におかれましては、その職務を認識され、他のタクシー運転者の模範となられるよう、今後も格別の努力



受賞者代表として賞状を授与される町田和雄さん(東個協・江戸川第一支部)

をお願いするものであります。また皆様の受賞にあたって、ご家族の深いご理解とご協力、あるいは同僚の温かい励ましや上司の適切なご指導があったものと思います。ご家族並びに職場の皆様方に対しても深く敬意を表します」

受賞者の声

30年表彰

都営協・事業団支部

山口俊一さん

個人タクシー

歴は28年になります。個人になった時に交通共済の理事の方から「停まることが基本」と言われ、それからは常に一時停止や信号等に気を付けてきました。お客様からも「停止する時のスピードが優しくて気持ち良いね」と褒めの言葉をいただくことがあり、嬉しく思います。また60歳過ぎてからは「まず事故を起こさないことを第一に」という気持ちで夜から朝へと仕事の時間を変え、心と身体に余裕をもって仕事をしています。我が家は兄弟3人全員が個タクをやっています。これからも長男として家族の手本となるよう頑張っていきたいと思っています。



銀座乗禁地区内

すべて優良タクシー
乗り場へ

■2020年2月3日運用開始

- 銀座6号タクシー乗り場
- 銀座10号タクシー乗り場

優良タクシー乗り場については利用者利便の向上を目的とし、ガイドラインに基づいて設置・運用されております。

良質なタクシーサービスが提供できる優良タクシー乗り場を、銀座等の訪日外国人旅行者が多い地区に設置することがインバウンド対応として有効と考えられ、さらには、国内外にむけて安心・安全で快適な日本のタクシーが世界一のタクシーであることを改めてPRすることができるとして、銀座乗禁地区内タクシー乗り場は2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会までに段階的に優良化が進められてきました。

今般、左記のとおり銀座6号・10号タクシー乗り場が令和2年2月3日(月)から優良タクシー乗り場として運用開始されることとなり、これにより銀座乗禁地区内の一般タクシー乗り場はすべて優良タクシー乗り場となります。

なお、銀座乗禁地区・規制時間において営業を行う場合は、「銀座タクシー乗り場リーフレット」を携行してください。

関東支部主催

輸送の安全管理研修会

12月3日(火)午後1時より、個人タクシー会館にて「輸送の安全管理研修会」が行われ、各団体役員202名が参加しました。

特別講演として、成増厚生病院副院長であり東京アルコール医療総合センター長でもある垣渕洋一氏から「誰でもなり得るアルコール依存症」予防と対処法」というテーマの講演があり、アルコールは嗜好品ではなく脳と身体への影響を考えると「薬物」だという話とともに、「医師から処方された薬でも効果と副作用のバランスを考えて服用することは常識です。アルコール依存症までは行かなくても、不適切な飲酒から、急性アルコール中毒や家庭崩壊、DV、うつ病、生活苦等へと続いてしまいます。これらはある日突然に全ての問題が起こるのではなく、少しずつ問題が積み重なっていくので、本人は問題の深刻さに気が付きにくいことが問題です。そこで他人の目が重要であり、まずは集団教育で正しい知識を共有し、思い当たる節があれば個別の保健指導を行うことが大切だ」と話がありました。

続いて関東運輸局自動車技術安全全部の岩淵真二自動車事故調査分析官による「タクシーの事故防止対策」という講演では、重大事故等の発生状況を分析した後、トリックアートや坂道錯視の写真を元に「運転時の見え方」「状況による感

個タク制度の危機

真面目な事業者 迷惑千万

なぜ法を守れない
本当にいいのか! このままで!!

NO! 飲酒運転
NO! ひき逃げ

一般社団法人 東京都個人タクシー協会

じ方の違い」について言及し、「人間の視覚的特性として経験や訓練では補いきれないものがあり、これがミスやエラーへと繋がってしまいます。意識が無意識にならないようしっかりと認識して、安全運転をお願いします」という言葉で締めくくられました。



■不適正営業集計表(街頭営業適正化指導規程)

(件)

発生日	警告事案	処分事案	処分事案(加重)	合計
令和元年10月	7	0	3	10

■処分事案対処報告書(街頭営業適正化指導規程)

令和元年11月報告分

会員	団体名	氏名	発生日	発生場所	対象行為	加重	処分内容
都営協	足立支部	S・M	R1.7.24	中央区銀座8-3	乗り場無視		表示灯使用停止 換金停止
都営協	足立支部	H・S	R1.9.26	千代田区内神田3-12	接客不良		表示灯使用停止 換金停止
都営協	小岩支部	K・N	R1.9.21	千代田区有楽町1-2	運送引受拒絶		表示灯使用停止 換金停止

※処分事案は会員団体に処分を要請し、令和元年11月中に処分内容の報告があったもの
※加重とは、処分事案としての処理が2回目以降となる場合です

計報

*11月

氏名 所属団体

享年病名

今井	義夫(東個協・板橋第二)	71	不明
須永	重夫(東個協・品川第三)	81	骨髄異形成症候群
葵木	雄二(東個協・世田谷第三)	71	心不全
吉田	義治(東個協・練馬)	68	胆嚢癌
植木	秀孝(東個協・墨田)	69	肺炎
三浦	昌幸(東個協・墨田)	46	心不全
渡邊	敬(東個協・新東京)	72	膀胱癌
上野	進(都営協・小岩)	70	肝臓癌
國本	正雪(都営協・第一事業団)	73	胃癌

ご冥福をお祈り申し上げます

第27回 個人タクシー 利用者懇談会

個人タクシーの良い点、 もつとアピールする方法を考えて

12月6日(金)午後2時より、アルカディア市ヶ谷において「第27回個人タクシー利用者懇談会」が開催されました。秋田会長の挨拶に続き、前田専務理事からの個人タクシー業界の現状についての説明の後、20名のアドバイザーの方々と意見交換がおこなわれました。

意見交換

●ドライブレコーダーについて

久保洋武さん

三菱電機ライフサービス(株)

ドライブレコーダーの画像を警察等の公的機関の要請に対し提供することは、犯罪の解決や抑止効果にもなり、とても素晴らしいことだと思う。実際の画像提供の要請はどの位あるのか。

秋田会長

警視庁からの要請ですが、2017年は49件、2018年は54件、今年は11月までで42件となっています。今後も警視庁と連携をして防犯に取り組んでいくつもりです。

●観光タクシードライバーについて

星野綾子さん

【東京消費者団体連絡センター】

観光タクシーの資格のある運転手さんの車に乗ったら、とても素晴らしかった。こういう観光知識を持った人がいることが分

ければ、乗りたいと思う人も増えるのでは。この認定を受けた人だと分かる印が車に付いていれば宣伝効果にもなると思う。やる気のあるドライバーを後押しするような取組をお願いしたい。

秋田会長ほか

観光タクシーを行う時にだけマグネット式のステッカーを車外に貼っていますが、通常の業務では貼っておりません。有志がそれぞれ自分の車内に観光タクシーのパンフレット等を載せている状態です。また東京は観光タクシーの認定制度が非常に厳しく、認定者がなかなか増えない現状があります。これからも試験費用の助成を行うなど取組を続けます。

●アプリ配車について

水谷孝司さん

【中日新聞東京本社】

仕事柄、緊急の時にタクシーを利用してはいる。しかし、最近はタクシーがなかなかつかまらない。アプリを使ってもタクシーそのものがいない状況で困っている。今回新しいアプリ配車の話が出ているが、ぜひなる

べく早く進めていただきたい。
秋田会長ほか

現在のアプリ配車は二度無線室が受けて、それぞれに割り振るというやり方でした。これからは個々でアプリ配車を受けるようになりますので、今までよりもつかまりやすくなるかと思えます。新しいアプリの導入ですが、経産省の補助金等の問題もあつて現在までずれ込んでおりまして、利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしております。

●マナーコンテストの様子を見てみたい

柿本章子さん

【主婦連合会】

資料に接客マナーコンテストの様子をDVDにして業界内で活用しているとあるが、素晴らしい接客とは事業者と利用者がイメージが同じなのかどうか気になります。またこういうスキルアップの努力をしているという宣伝にもなるので、ユーザー等でも誰でも見られるようにしてみてもうか。

秋田会長

ユーザーに出せるかどうかはこれから検討してみます。テレビ局等には全国大会の取材をお願いしているのですが、まだ来ていただけていません。しかし優勝者はNHKや地元の新報に取り上げられており、少しずつ個人タクシーの取組を広めていけていると思っています。



委嘱状を代表で受け取る柿本章子さん(主婦連合会)

＜その他のご意見・ご要望＞

- マスターズ制度の認知度が低い。せっかくの良い制度なのでもつとアピールしていくべきでは。
- 自宅から病院の往復など、地域の個人さんと個別に定期利用したい。
- オンラインピックアップ時の渋滞について対応策をしっかりと考えておいて欲しい。
- 免許返納割引の制度をもつと高齢者に気づいてもらえるような場所で周知を図るべき。
- 運転マナーや言葉遣いの指導をきちんとしていただきたい。
- UD研修を通じて車イスなどの方だけでなく、すべての交通弱者に対するサポートをお願いしたい。